

## 第2回南砺市立学校のあり方検討委員会会議録（要点記録）

**[日時]** 令和2年10月30日（金）開会：午後7時00分 閉会：午後8時40分

**[場所]** 南砺市役所 福光庁舎別館3階 大ホール

**[出席委員]** 19人

松山 友之 委員長	石黒 公一 副委員長	齋藤 史朗 委員
税光 詩子 委員	野原 浩昭 委員	今井 幸代 委員
谷戸 仁美 委員	越山 穂高 委員	山崎 宏充 委員
長谷 英毅 委員	小原 治五右衛門 委員	柴田 昌尚 委員
湯浅 俊和 委員	酒井 浩徳 委員	東田 晃 委員
柳田 由紀 委員	大河原 晴子 委員	森田 清仁 委員
須河 紗也子 委員		

**[欠席委員]** 0人

**[事務局員]**

教育長	松本 謙一	教育部長	村上 紀道
教育総務課 課長	氏家 智伸	教育総務課 副参事	高田 公美
教育総務課 主幹	川口 雅也	教育総務課 副主幹（学務係長）	野村 大輔

**[傍聴人数]** 0人

**[協議事項等]**

1. 開会 教育長あいさつ

2. 報告事項

・令和2年度第1回南砺市総合教育会議での市長・教育委員の発言要旨について

3. 協議事項（意見交換）

・将来の学校のあり方について

4. 次回協議会の日程

5. 閉会 副委員長あいさつ

## [会議の概要]

### ○開会

**教育総務課長** ただいまより、第2回南砺市立学校のあり方検討委員会を開会いたします。

### 1. 委員長あいさつ

**委員長** 前回の委員会では、皆さまそれぞれのご意見をお持ちでした。今日の委員会でもできるだけたくさんお話していただきたいと思いましたが、事務局と相談し、委員の皆さんが意見交換をしながら、意識の違いや考え方を話し合えるグループワークという形をとらせていただきました。今日はぜひ、色々なお話をし、共通理解を図っていただき、これからの学校のあり方の方針につなげる機会になればと思います。総合教育会議における発言概要の説明の後、短い時間ですが意見交換をしていただきます。最後にはみなさまから一言いただき、次につなげていきたいと思っております。この第2回目を理解が深まる良い機会にさせていただきたいと思っております。

### 2. 報告事項

**委員長** 教育総合会議の要旨について、事務局から説明をしてください。

**事務局** 【資料1の説明】

**委員長** 説明が終わりましたので、各委員からご質問・ご意見等がありましたら、どんなからでもお願いいたします。

### 3. 協議事項（意見交換）

#### ・将来の学校のあり方について

**委員長** 「将来の学校のあり方について」の教育委員会の方針（案）（意見交換）について、事務局から資料の説明をしてください。

**事務局** 【資料2の説明】

**委員長** 30分ほど時間をとり、グループ内の意見交換を行っていただく予定としています。グループ内で意見をまとめるという訳ではなく、色々な意見を交換して自分の意見をまとめていただければと思っています。

**委員同士の意見交換** 【グループでの意見交換】

**委員長** それでは、お一人ずつ意見を伺いたいと思います。それではAグループの進行役の方から時計回りに順番にお願いいたします。1人あたり2分程度で考え方を発表してください。Aグループが終わりましたらBグループという順でお願いいたします。

**委員A** 来年度から井口義務教育学校が開校となります。この義務教育学校がどうある

べきか検討したときに、小規模校の良さを生かすために義務教育学校という形にしました。この義務教育学校で地域おこしになればと思っています。県内から井口地域の教育の良さを知ってもらい、井口義務教育学校へ呼び込みたいです。

**委員B** 福野地域は他の地域とは問題点が違うと思いますが、教育委員会のあり方の案は素晴らしいです。しかし、これから問題点があるとすれば、地域おこしやまちづくりだと思います。今後の5年間はメリットやデメリットの話し合いも必要だと思います。30年後を決めてしまうのではなく、5年後、10年後とまた考え直してもいいのではないかと思います。また、各地域で町おこしやまちづくり等考えられているので、発表会をしてもよいと思いました。

**委員C** 私は井波地域出身で「井波愛」をもっています。しかし、この「井波愛」を「南砺愛」に変えていかなければならないと思います。南砺市の学校には、子供に寄り添った考え、子供優先をお願いしたいと思っています。現在、コロナ禍ということもあり、子供たちは制限されていますが、様々な選択肢、挑戦を与え続けていきたいと思っています。

**委員D** 利賀地域はやはり子供たちが少ないです。一人ひとりが発言する機会は多くなりますが、体育や音楽の授業にチームが組めない等があり可哀想だと思います。しかし、小中合同での運動会等を行い、一人ひとりの役割がすごく大きいです。子供たちが成長し学んでいます。そこに地域の方々の協力もあり、1つの学校として運用しています。来年度から山村留学が始まり、9人の子供たちが一緒に学習する予定です。良い結果になれば、全国から子供たちが来るような、利賀独自の学校のあり方になれば良いと思います。

**委員長** 令和10年度に伏木小学校も義務教育学校になるそうです。義務教育学校になる流れができてきているのかと思います。これは、知恵が必要な1つの大きな提案です。型がどこにもなく、多くの知恵でつくっていく段階だと思います。今後5年後の話等ありますが、知恵を出し合って、新しいものを作っていかなければならないというピンチのように思います。しかし、このピンチをチャンスに変えるような提案をしていきたいと思いました。

**副委員長** 「地域」という言葉が引っかかります。南砺市商工会青年部では、旧8町村の文化がありますが、少しずつまとまりができてきました。小中一貫校は悪い話ではないと思いますが、小・中・高・大まで考えれば、高校生になるとほぼ南砺市から出ることになります。中学生までは南砺市の学びがあればいいと思います。

**委員E** 高校生まで部活動中心の生活を送っていました。部活動の問題に対しては、5年後ではなく、できるだけ早く解決するべきであると思います。南砺市で教育を受けられたことは先生方の力が大きいと思いますので、先生にとっても働きやすい環境づく

りも必要です。

**委員 F** 前回、校舎の耐久は今後20年程余裕があるという話がありました。20年後に、子供たちは今の教室で勉強していないと思います。また、新校舎を建て全部一緒にしてしまうと、20年以上かかります。今の子供たちに良い環境を与えるためには、素早い動きが必要になります。来年度、井口義務教育学校は開校されます。他の地域に比べ、井口地域だけ学力が上がってしまうことになると、他の地域に満足感が得られないと思います。南砺市全体を平等にさせていただいて、南砺市全体の学力が上がればよいと思います。

**委員 G** 利賀地域に保育園や学校を残し続けることは、南砺市にとって荷物になると思っています。しかし、保育園も学校も残してほしいです。学校がないと、やはり人が来てくれません。人数が少ないなりに、良いことがあることを実感しています。また、地域の隔たりをなくし、学校を1つにすれば良いという意見がありました。子供たちが、自分の住んでいる地域の良さを分らないと、南砺市全体の良さも分らないと思います。保育園、学校で自分たちの住んでいる地域の良さを伝えることが必要だと思います。

**委員 H** これまで、様々な規模の学校での勤務を経験してきた中で、地域や保護者の方、学校、子供たちが1つにまとまっていました。支えていただいて、子供たちを育てていただきました。そして、教員も地域の方に育てていただいたことを実感しています。学校の規模はそれぞれ違いますが、子供たち一人ひとりの目を輝かせるのは、地域、保護者、学校であることは揺るぎがないものです。また、他市からは、南砺市の教育について羨ましがられています。地域や保護者の方が真剣に討論されているからです。そして、子供たちや学校のために、市からたくさんお金をつぎ込んでいるからです。「教育」の市である南砺市の学校のレベルをあげるために、地域の特徴がある南砺市の教育を展開していきたいです。それぞれの地域の文化がある学校を残すことには賛成です。

**委員 I** 昭和60年頃の城端中学校は多い学年で200人程在籍していました。現在、半分以下の50人程かと思います。これまでの学校教育を振り返るのではなく、今後どうしていくのか、過去にとらわれないことが求められます。地域に学校があることは、子供たちにとっても地域の方にとっても非常に大切なことです。学校がなくなると、コミュニティも崩壊していきます。義務教育学校のような色々な方法を使って、地域に学校を残していく必要があります。それぞれ委員の考えも違うので、様々な考えを出し合うことで、よりよい方法を見つけていければと思います。

**委員 J** 学校の統合や再編は、デリケートな話になると思います。10年程前に、平・上平地域の小中学校が統合しました。子供たちのことを第一に考えるべきはさすが、大

人たちの損得感情で決まることになりかねません。現在、立派な小中学校校舎を作っていたきましたが、もっとやりようがあったと思います。まず、子供たちがどのような環境でどのような教育を受けるかが全てだと思います。みなさんと一生懸命考えていきたいです。

**委員 K** 利賀地域の子供たちは少ないですが、一人ひとり自分の役割がしっかりあります。地域を担う一員として、しっかり教育ができていて、素晴らしいと思います。地域の中にも、子供たちの成長を見守っていける環境が整っています。南砺市を「ふるさと」と考えることは必要だと思います。南砺市は8つの地域があって、山や町の様々な文化があり、多様性があることが「南砺市」だと思います。地域の文化があり、その学校同士で交流することで、南砺市の多様性が把握できると思います。学校が統合することで、南砺市の豊かな自然や文化が薄れていくことを危惧しています。

**委員 L** 学校やPTAの会合にて教育長から説明のありました学校あり方について、自分の考えを加えながら毎日のように考えています。まず自分で考えてみるという雰囲気を作ることが第一歩だと思っています。子供の入学者数が減っているので、PTAの人数も減っています。その中で、良い意味で8町村が歩み寄る機会だと思います。人数やお金の問題の事を考えると、心配な未来しかありません。子供たちにとって、何が良いのか、地域のつながりを考えたときに衰退してしまいます。そのような事を考えた中でPTAなどが自分事のように考えていくことが必要だと思います。

**委員 M** 学校の機能を考えたときに、子供たちの発達段階と学校の規模は相関しています。小学校は小規模校できめ細やかな教育、中学校から大学に進むにつれて、生徒会活動や部活動ができるようになることが、子供たちにとって1番適切な教育だと思います。南砺市が義務教育学校化して学校数を減らすことは妥当だと考えます。義務教育学校も小規模になった際は、学校の機能をキープするために、統合も必要になると思います。また、地域の教育を考えたときに、同じ学校でも獅子舞がある地域、里芋掘りをする地域と様々な文化がある学校はどこにでもあります。学校を統合しても、最終的に「南砺市は1つ」という考えをもっていけば、同じ学校で違う文化をもっている何も問題はありません。それぞれの文化を大事にしながら、「南砺は1つ」という考えをもっていかなければならないと思います。

**委員 N** 8町村に学校を残すことが、軋轢がなく良い方法であると思います。しかし、この方法でいつまで保てるのかわかりません。子供たちに寄り添った考えで、統合する方法は今から考える必要があると思います。また、部活動についても南砺市全体で選べる方法にすると聞きました。学習も学校も選択肢が多い方が子供たちのためになると思います。

**委員 O** 来年度から井口小中学校は義務教育学校になります。行きたい学校に行ける選択肢ができれば良いかと思っています。部活動の問題も出てくるので、今後も今日のような

な検討会で協議していきたいと思います。

**委員P** 8町村に学校を残すことに賛成です。しかし、その地域の学校に通う子供たちがいなければ難しいと思います。10年後の上平地域には、子供たちがいなくなると想定されます。やはり、子供たちがいないのであれば、統合も考えられます。南砺市内どの学校にでも通うことができる制度があっても良いと考えます。

**委員Q** 学校は、社会に出るための「練習の場」だと思っています。子供たちが社会に出て、自分で生き甲斐や役割を見つけ、生きていけるような基礎を学校生活の中で身につけてほしいです。そのために、できるだけ人数の多い学校で育つ環境があった方が良い面があると思います。小規模校の良さもありますが、どのような大人になったら良いのか、南砺市としてどのような大人を育てたいかという焦点をあてて検討すれば良いと思います。

**委員長** 今、各委員から貴重なご意見をいただきました。ご意見をいただいたことを基に10分程意見交換をしていただきたいと思います。

#### **委員同士の意見交換 【グループでの意見交換】**

**委員長** グループ内で話し合っただけのことを次回の委員会で共有できるかと思っています。次回の委員会の進め方について、事務局より説明があります。

**事務局** 次回の委員会では、資料2の市教委で提案している「小中学校のあり方検討」についてご意見をいただきたいと思います。1つ目に、2025年度頃の学校のあり方（案）について案のとおり進めてよろしいか。2つ目に、5年ごとに検討委員会を設置し、学校あり方（案）を見直すことでよろしいか。3つ目に、2045年度には義務教育学校8校にするあり方（案）でよろしいか。この3つについて、みなさんからご意見をいただきたいと思います。また、子供たちのことを考えての統合を求められる地域があれば、市教委としても統合を考えていきたいと思います。

### **3. 次回協議会の日程**

**教育総務課長** 次回の協議会についてですが、令和2年11月27日（金）午後7時を予定しております。委員の皆様には、後日ご案内いたしますので、よろしくお願いたします。

### **4. 閉会 副委員長あいさつ**

**副委員長** お忙しい中、集まりいただきまして、各委員から貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。今回は、それぞれの意見を話し合い考えるということで、自分の意見と照らし合わせられる良い機会だったと思います。次回はポイントを絞った協議内容になります。この協議は子供たちのためのものです。私たちは親世代、おじいちゃん世代ですので、子供たちの目線になって協議していきたいと思います。本

日はありがとうございました。

**教育総務課長** 以上をもちまして本日の会議を終了いたします。ありがとうございました。